

きららとちぎ

間仕切り



授乳室用テント



第3回男女共生大学(2025.9.9<火>) 「男女共同参画の視点からの防災講座」

簡易トイレ



講師:芳村佳子氏

段ボールベッド



CONTENTS

男女共同参画の視点からの防災講座	P2
中学生のためのキャリアデザイン講座	
令和の寅子にインタビュー	P3
とちぎ市男女共同参画のつどい	P4
DVに悩んでいるあなたへ	



栃木市マスコットキャラクターとち介

栃木市ホームページ
こちら➡



男女共同参画の視点からの防災講座



(公財)栃木共同参画財団の芳村佳子氏による講座では、まず栃木市内の過去の豪雨災害を映像で確認しました。続いてDVD「避難所の開設と運営のしかた」を視聴して避難所運営をイメージした後、段ボールベッドや間仕切り・授乳室用テント、簡易トイレの設営を体験しました。

最後に、地域で避難所を運営する際の留意点についての説明があり、その中で日頃から女性をはじめ多様なリーダーの育成が必要であると話されていました。

参加者へのインタビュー

Q この講座を受けようと思った理由は？

- ・防災の話に興味があり参加しようと思った。
- ・内容が知りたかった。年をとってきたので、災害が起きたときスムーズに避難したい。
- ・勉強しておこうと思い参加した。「備えあれば憂いなし」である。



参加者の感想

- ・実際に段ボールベッドや授乳室用テント、簡易トイレの設置を自分たちで行い確認することで、今後の避難所運営の参考になった。段ボールベッドは簡単でとても強かった。
- ・避難所開設の際の最優先事項は「トイレ」だということをしっかり覚えておきたい。避難所を開設することになったら、まずトイレの水が流れるか確認したい。
- ・プライバシーの確保はとても大切だと思った。
- ・「炊き出しの全員体制」「その場の人全員で組織を作る」などの言葉が印象に残った。

中学生のためのキャリアデザイン講座



「中学生のためのキャリアデザイン講座」は、男女共同参画社会の実現を目指して、将来の担い手となる中学生を対象に、自分の望む将来の姿や夢へのアプローチを現実として考える一助となるよう、毎年実施しています。

講話の中で講師の(有)フェードイン代表工藤敬子先生が話してくださったことを一部抜粋してお知らせします。

★仕事とは自分がしたいこと、できることに、想いをのせて、表現すること★

「Doing」:何をするのか、どんなことに挑戦したいのか。

「Being」:どんな人でありたいのか、どんな生き方をしたいのか。

自分の「Doing」と「Being」を大切に、
今できる小さな一歩を踏み出してみよう！
その一歩が、あなたらしい人生につながる。



先生方の感想

- ・職場体験を控えた子どもたちにとって、キャリアについて考えるよい機会になったと思う。
- ・生徒もなぜ勉強するのかと疑問に感じる時期でもあり、能力のタグ(自分の可能性)を増やすために頑張りたいと感じた生徒も多かったようだ。
- ・不確実な未来を生きるためのキャリアデザインについて、現代社会の現状や将来設計、自分磨きのヒントなど、丁寧にお話しいただき新しい学びがたくさんあった。
- ・クラスで振り返った際、「働くこと＝お金を稼ぐこと」だけではなく、経験を積むなど働くことで得られること(もの)が分かったという声が多かった。

令和の
寅子

にインタビュー



今回は、栃木市岩舟町にある株式会社相良酒造の10代目女性杜氏、相良沙奈恵さんにご登場いただきました。1831年(天保2年)創業の相良酒造は、創業194年の歴史ある酒蔵。そこで代々受け継がれてきた代表銘柄「朝日榮」をメインとした酒造りを担っているのが沙奈恵さんです。酒造りの杜氏は男性というイメージのなか、女性杜氏として頑張っている沙奈恵さんにお話をお聞きしました。



Q.1 女性杜氏になったきっかけは何ですか。

A 3人兄弟の末っ子で、子どもの頃の夢はピアノの先生か幼稚園の先生になりたいと思っていました。高校3年生の春に家庭の事情により進路変更しました。

Q.2 男性社会に飛び込むことに躊躇はなかったですか。

A 不安は多々ありましたが、先祖代々受け継がれてきたものを守りたいという一心で覚悟を決めました。

Q.3 酒造りへの思いを聞かせてください。

A この業界に入り、両親の大変さや有難みを身に染みて感じるようになりました。父からは「お酒造りはその人の性格が表れる。愛情を注いだ分だけ酒質で返ってくる」ということを教わりました。

また、お酒造りを通して、日本の伝統文化を後世に繋げていきたいという気持ちが芽生えました。杜氏の仕事をしっかり守り抜けるように、今後も自分の鏡であるお酒造りと向き合っていきたいです。



Q.4 男性社会での酒造りの苦勞やうれしかったことは何ですか。

A 体力勝負の仕事が多く、最初は体力面で大きな壁がありました。

当時、お酒造りの経験が浅い中で、女性であるというだけで偏見を向けられることもあり、「酒質で認められたい」という思いが強かった為、取材等は殆どお断りしていました。

しかし今では、目指す酒質のお酒を造れるようになってきたことで自信もついてきました。女性であることも個性の一つであると受け入れられるようになり、イベントやSNSを通じて「美味しい」と言ってくれるファンが増えたことは、本当に嬉しく、大きな励みになっています。

Q.5 今後どのようにしていきたいか、希望を伺いたいです。

A 創業1831年(天保2年)、おかげさまであと6年で「創業200年」という大きな節目を迎えます。

その創業200年を第一目標に、蔵を存続させていくためにも会社を盛り立てていきたいです。そして、これまで支えてくださった皆様への感謝を糧に、栃木の地酒として地域に根差しながら、より多くのお客様に喜んでいただける酒造りを目指し、これからも真摯に酒造りに励んで参ります。

令和の
「寅子」
大募集

男女共同参画推進に関わる活動をされている方を取材し、このコーナーで紹介させていただきます。
自薦他薦は問いません。ご応募お待ちしております。



とちぎ市男女共同参画のつどい 「木山裕策講演会 & ミニコンサート」

木山家流～子育てで深めよう家族の絆～
ワーク・ライフ・バランスのすすめ

大病を経験して改めて痛感した家族の大切さや絆。
会社員と主夫を経験した立場から、ワーク・ライフ・バ
ランスや子育てについて語っていただきます。
ぜひ、お誘い合わせの上、お越しください。

日 時 2026年 1月17日(土) 13時20分～
(13時00分開場)

場 所 とちぎ岩下の新生姜ホール 大ホール
(栃木文化会館)
栃木市旭町12-16 TEL 0282-23-5678

入場無料・申込不要、先着順・800席、手話通訳あり

講師

きやまゆうさく
木山裕策氏(歌手)



11月12日～25日は

「女性に対する暴力をなくす運動」

期間です。

DVで悩んでいるあなたへ 相談してください

- ・栃木市配偶者暴力相談支援センター TEL 0282-21-2218
- ・栃木警察署 TEL 0282-25-0110
- ・とちぎ男女共同参画センター相談ルーム TEL 028-665-8720
- ・認定NPO法人 ウイメンズハウスとちぎ TEL 028-621-9993

- ・困難を抱える女性LINE相談@とちぎ
毎週火曜日と土曜日の15時～22時まで受付
2次元コードを読み取るか、以下のURLを入力
し登録してください <https://lin.ee/inKys5f>



- ・DV相談^{がらす} ☎ (24時間受付) つなぐ はやく
TEL 0120-279-889
- ・DV相談 + チャット相談 (12:00～22:00)
※スマートフォンからは右のQRコードより
ご利用ください



DVや性暴力に
気づいたら
相談されたら

そのとき、私たちにも
できることがある。

あなたの考えや気持ちを押し付けず、まず寄り添って話を聞くことから、始めてみませんか。
そして、どんな時も「あなたは悪くないよ」と伝えてください。

年齢・性別を問わず相談できる窓口があることも伝えてください。

性別・性暴力	配偶者・交際相手からの暴力
SNSで相談 Cure time (キョウタイム) #8891	電話で相談 ネットでも相談 DV相談 プラス #8103 #8008

11月12日～25日は「女性に対する暴力をなくす運動」期間です。



編集後記

編集委員がインタビューなどに関わることによって、内容が膨らんできたように感じて
います。さらに、今年は県でも男女共同参画の風が吹き始めました。栃木市もその流れの
中で、男女共同参画の意識が高まっていくことを望んでいます。 飯嶋・寺内・中島・森田